

1. 実施概要

日 時 2022年3月11日(金) 13:00～15:00
実施方法 オンライン (ZoomによるWeb会議)
参加委員 空井 護 教育部長
岩谷 将 教育部副部長
山下 直樹 財務省主計局農林水産第3係主査
伊藤 慎時 株式会社道銀地域総合研究所経済調査部長
欠席委員 高見 芳彦 北海道総合政策部交通政策局長

2. 協議事項および協議内容

①教育課程の現状について

教育部長より、専門職大学院の設置および教育課程編成に係る根拠法令を踏まえ、教育課程の現状について説明を行った。併せて、新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた入試対応と受験者動向の変化、実務家教員の確保に向けた活動の状況、教員の人事異動に伴う科目対応等についても情報を共有した。委員からは、修了生の交流と社会人の学び直しを兼ねた機会創設への期待、コロナ禍により加速的に充実したIT環境を踏まえ、これを活用した修了生との交流機会拡充の提案が寄せられた。

②今後のリカレント教育のあり方について

教育部長より、公共政策に係る専門職大学院として社会人のリカレント教育拡充について、これまでの実績を踏まえつつ検討を進めており、優先的事項としては正規課程内における社会人受け入れの促進に必要な対応策、自治体との連携強化を検討している旨、説明を行った。委員からは、政策課題とその対応策や解決手段に係る環境変化が激しさを増していることから、社会人側のリカレント教育ニーズが一層高まっていること、広大な土地と多数の自治体をかかえる北海道の地域特性の中で本大学院の果たすべき役割は重要性を増していると考えられること等を踏まえ、リカレント教育の拡充に期待したい旨、意見が寄せられた。

③その他

教育部長から、今年度から開始した修了生アンケートへの熱心な回答、宮脇淳教授最終講義への280名にのぼるオンライン参加者数など、修了生とのつながりを強化できる素材があることを説明し、出席委員からも賛同を得た。